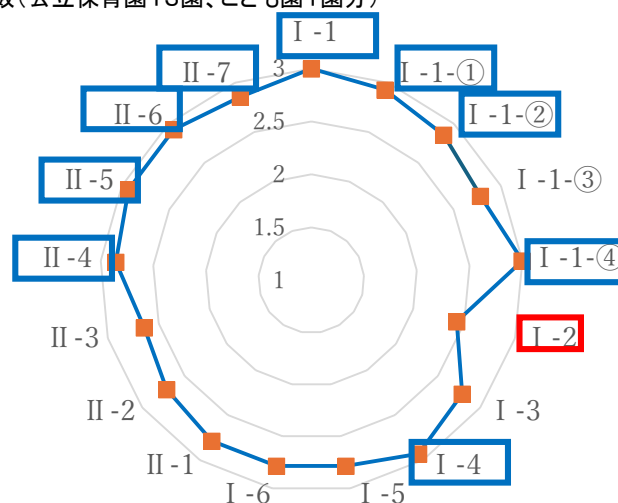


大津市立保育園・認定こども園の自己評価と実践の振り返り

点数の分布から見る全体的な傾向

自己評価の項目別平均点数(公立保育園13園、こども園1園分)



		評価の観点
予 防 対 応	I-1	人格形成の基礎を培う豊かな保育・教育を行っている
	I-1-①	こどもの命を守り、健やかな成長・発達を保障している
	I-1-②	こどもにとって最善の利益とは何かを考えた保育を行っている
	I-1-③	子どもが意見や思いを表すことができ、その意見や思いを十分に尊重している
	I-1-④	どのような理由でも差別されることなく、人としての権利を保障している
	I-2	豊かな保育・教育に向けた日々の実践の振り返りを行っている
	I-3	こどもの異変への気づき力や対応力の向上を図っている
	I-4	専門性を高め合う職員集団をつくっている
	I-5	丁寧な対応による保護者との信頼関係を構築している
	I-6	すこやか相談所や療育施設等の関係機関との日常的な連携を図っている
初 期 対 応	II-1	こども・保護者の異変やサインを見落とさない対応を行っている
	II-2	園内に意見箱や相談窓口を設置し、意見や相談に対応している
	II-3	園全体で情報共有を図り、定期的な振り返り・評価を行っている
	II-4	トラブル等による心身の苦痛に対する適切な対応と保育の見直しを行っている
	II-5	聴き取りや現場検証等による迅速な事実確認を行っている
	II-6	事実の記録をするとともに、対応策の検討を行っている
	II-7	事実関係や取り組みについて、保護者との共有を行うとともに、保護者に寄り添った丁寧な対応を行っている

高評価の項目(平均が2.85以上)

- I-1 人格形成の基礎を培う豊かな保育・教育を行っている
- I-1-① こどもの命を守り、健やかな成長・発達を保障している
- I-1-② こどもにとって最善の利益とは何かを考えた保育を行っている
- I-1-④ どのような理由でも差別されることなく、人としての権利を保障している
- I-4 専門性を高め合う職員集団をつくっている
- II-4 トラブル等による心身の苦痛に対する適切な対応と保育の見直しを行っている
- II-5 聴き取りや現場検証等による迅速な事実確認を行っている
- II-6 事実の記録をするとともに、対応策の検討を行っている
- II-7 事実関係や取り組みについて、保護者との共有を行うとともに、保護者に寄り添った丁寧な対応を行っている

低評価の項目(平均が2.50以下)

- I-2 豊かな保育・教育に向けた日々の実践の振り返りを行っている

【予防対応】 こどもの人権と人格を尊重する豊かな保育実践と保護者との信頼関係の構築

※評価項目 I-1～I-6

全園で「人格形成の基礎を培う保育・教育」がよくできていると評価され、子どもの思いやペースを大切にしたい安心できる環境づくりが進められている。人権研修や学習会なども活発に行われ、専門性の向上に努めている。一方で、子どもの思いを十分に尊重する実践や日々の保育の振り返りには課題があり、時間の確保や話し合いの質の向上が求められている。また、支援児など多様なニーズに対応するため、チーム体制の強化や職員負担の軽減も重要な課題となっている。

項目	良い実践	課題点
1 人格形成の基礎を培う保育・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思いやペースを尊重し、安心できる環境を構築・発達段階に応じた丁寧な関わり ・「共に育ちあう」理念の継承、人権研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見や思いの尊重に課題 ・配慮が必要な子どもへの対応が困難になることも
2 日々の保育実践の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にクラス・個人・園全体で振り返り実施 ・人権意識に特化した振り返りもあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの時間が確保しにくい ・話し合いの質向上が求められる ・勤務形態の違いによる調整の必要
3 こどもの異変への気づきと対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との関係づくりを進める中で、保護者や子どもの違和感を速やかに共有し迅速な対応をしている。 ・関係機関との連携がスムーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な課題は少ないが、継続的な支援体制の維持が必要
4 専門性を高める職員集団	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会や語り合いによるチーム力強化 ・多職種での学び合いを重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮児対応等で時間が不足しやすい ・職員の専門性をより発揮する体制づくりが課題
5 保護者との信頼関係構築	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な日常の関わりで信頼関係を構築 ・多国籍の保護者への文化的背景を尊重した関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の不安が高まっている傾向がある中、保護者支援に関する時間の確保が課題
6 関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なタイミングで適切な連携を図り支援につなげている 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応件数が多く、記録・対応による職員の負担が大きい

【初期対応】 タイミングを逃さない丁寧な対応

※評価項目 II-1～II-7

保育施設の「初期対応」に関する評価結果では、多くの項目で高い実践力が示された。特に「迅速な事実確認」や「対応策の検討」は93%が最高評価を得ており、トラブルや事故時の初動対応力や再発防止策の意識が定着してきている。一方で「情報共有・振り返り」に関しては評価がやや低く、職員間の認識の違いや共有のタイミングの課題が浮き彫りとなった。また、保護者対応においては、全体として丁寧な姿勢が見られるが、保護者のサインの見落としや思いとのズレが残るなど、継続的な関係構築や職員の対応スキル向上が必要。

項目	良いところ	課題
1 こども・保護者のサインへの気づき	・多方面からの関わり、研修内容の共有により対応力が向上している。	・発信の少ない保護者のサインに気づけないケースがある
2 意見・相談対応	・意見箱設置、個別面談、アンケート実施による保護者意見の収集で改善につなげている。	・相談内容によって対応職員が限られ、情報の偏りが生じる可能性
3 情報共有・振り返り	・定期的な会議や緊急時の体制意識が浸透している。	・クラスごとに報告のタイミングが異なり、定期的な振り返りの余裕がない
4 トラブルへの対応と保育の見直し	・インシデント報告の定着、保育の改善意識が高まっている	・経験が浅い職員や短時間パートの職員が増える中で、保育観や価値観のすり合わせに課題がある。
5 事実確認(聞き取り・現場検証)	・即時の検証・記録・報告体制が確立している。	
6 記録と対応策の検討	・記録と再発防止への取り組みが評価され、保護者対応にも活かされている	・記録が膨大になるケースがあり、整理・活用に課題がある
7 保護者との共有と丁寧な対応	・状況説明や保育の取り組みを丁寧に伝える姿勢がある	・対応方法によって保護者との認識にズレが生じることがあり、個々のスキルアップが課題